


ai no kaze
あいのがぜ

2012年 秋号

no.

34

テーマ "女子力"

女性の再就職 

ハローワーク富山「マザーズコーナー」

富山市男女共同参画プラン
後期実施計画

女性の起業 

Hakoプラス建築設計事務所
代表 柴草 万里子さん

男女共同参画とやま市民フェスティバル2012

働きたい! お母さんの就職をサポート!

ハローワーク富山「マザーズコーナー」 就職支援ナビゲーターに、

インタビューしました♪



利用状況や、 実際の就職状況を教えてください。

平成19年5月に開設して以来、1日あたり平均して約20件のご相談があります。出産を控え、将来の相談に来られる方もいらっしゃいますが、利用者のほとんどが子供をもつお母さんたちです。相談者のうち、就職に結びついている方は約4割で、就職希望者の1/3が正社員、2/3がパートを希望しています。子供が小さいうちはパート、将来は正社員で…と希望される方が多いです。

パートと正社員… 揺れるお母さんたちの就職戦線は まだまだ厳しい風が吹いていますか?

働いているお母さんは「子供が病気になったときどうしようか?」という不安を常に抱えていますし、会社側もそのことを心配しています。正社員希望で面接を受けても、面接官に「お子様がまだ小さいのですね」と敬遠され、途中で正社員希望からパート希望に切り替える方も多です。その職種の経験が十分にある方や、おじいちゃん、おばあちゃんと同居して子供の面倒をみってくれる環境が整っている方であれば正社員として採用されやすいですが…。

就職・再就職にあたり、アドバイスは?

お母さんたちは、子どものことを第一に考えるため、なかなか会社側の立場に立って考えられない傾向にあると思います。面接の受け答えや履歴書の書き方なども含めて仕事に対する考え方が、自分本位になっていないか考えてみる必要があります。子育てにやさしい会社を求める気持ちは、相談員の私を含めて皆さん同じですが、会社側も経営が厳しい時代なので、お母さんたちの希望を100%叶えてくれる会社はすぐには増えないと思います。その会社で働くことになれば、普段から一生懸命頑張っ、子どもが病気で困った時に助けてもらえるような状況を自分たちで努力して作っていかなくてはならないと思います。いざという時には、ファミリー・サポート・センターや病児保育も力強い味方です! 子育て中のお母さんが「頑張れる」、また「応援していただける」環境づくりには、お母さんたちの努力も必要です。



相談員が考える、 働くお母さんたち、働き先を求めている お母さんたちの"女子力"とは?

働くお母さんたちは子供を生み、家事や育児、いろんなことを同時にこなしてきたことで、複数のことを同時に平行して進める技術が身についているように思います。仕事においても、優先順位をつけて効率良く進める能力があると思います。夕方は家事が待っているので、残業もできません。時間内に責任をもって業務を全うするため、頭をフル回転させスピーディーに仕事ができる! これは子育てで経験をしたからこそ得ることのできた「能力」ではないでしょうか? また昼休みなど同僚とおしゃべりすることで、育児やそれ以外の情報を得られたり、ストレス解消になったり。働きに出ることで、収入かついろいろな情報も得られる利点もあると思います。こんな一面も、お母さんたちの女子力ではないでしょうか。

どんな女性も、キラキラ輝きながら働ける社会づくり。
「今」を生きる私たちこそが、精一杯頑張りたいですね。

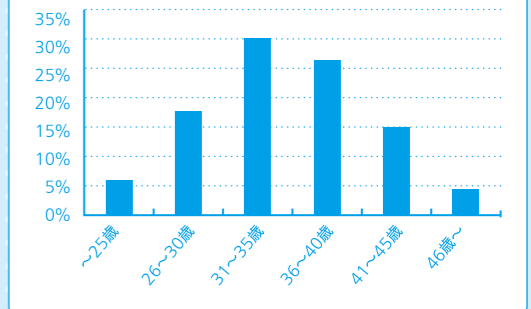
ハローワーク富山

マザーズコーナーご利用状況 〈平成24年6月〉

●初めての利用者

⇒平成21年度より、ほぼ横ばいの数値になっています。

- 平成21年度 2,086人 (うち在職者24%) (うち母子家庭の母11%)
- 平成22年度 2,016人 (うち在職者27%) (うち母子家庭の母9%)
- 平成23年度 1,950人 (うち在職者20%) (うち母子家庭の母10%)



登録者の年齢 (平成24年2月末現在)

●紹介就職者

⇒初めてのご利用者のうち、4割程度の方が就職に結びついています。

- 平成21年度 738人 (うち正社員割合14%)
- 平成22年度 820人 (うち正社員割合13%)
- 平成23年度 773人 (うち正社員割合14%)



●就業形態の希望

⇒パート希望の方の中には、いずれは正社員で働きたい方も多くいます。

- 平成21年度 一般希望:32% パート希望:68%
- 平成22年度 一般希望:29% パート希望:71%
- 平成23年度 一般希望:33% パート希望:67%

職種別では、事務がもっとも多く、官公庁の事務補助、製造、介護と続きます。正社員で採用になった方の年齢は、平成23年度は、20代が2割、30代前半が2割、30代後半が4割、40代が2割となっています。



「富山市男女共同参画プラン 後期実施計画」がスタートしました!



推進目標として次の4点をあげ、今後平成24年度から28年度まで後期5年間の男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定されています。

後期実施計画体系図

推進目標	取組みのテーマ	推進目標	取組みのテーマ
1 意識を変える、 権利を守る	①男女の人権を尊重し、平等意識を啓発する 個人の能力や適性に応じた生き方が尊重される、男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動などを幅広く行います。	3 家庭で支える、 地域で取組む	①家庭で喜びと責任を共有する 家庭生活の中で男女が互いに支えあっていくため、意識啓発や生活技術向上のための学習機会提供などに取組みます。
	②体と心の健康を守る 男女が各々の年代や健康状態に応じて、適切な自己管理が行えるよう、生涯を通じた健康を支援する対策を推進します。		②地域で取組む 様々な立場で培ってきた経験やアイデアが、性別や年齢にかかわらず活かされる、誰もが住みよい地域づくりを進めます。
2 能力を活かす、 可能性を育てる	①地域の政策や運営・経営の方針をきめる 企業や団体、地域の様々な組織の方針決定の過程に男女がともに加わり、その意見が十分に反映されるよう取組みます。	4 配偶者等からの 暴力の根絶に取組む	①DV根絶のための意識づくりを推進する 市民への啓発活動や情報提供、教育現場に携わる人たちの研修などによって、DVを防止し根絶する意識づくりを推進します。
	②女性人材を発掘し育成する 多様な人材を育成するため、男女が各々の個性と能力を育む学習機会と女性が様々な分野に挑戦できる環境を充実させます。		②相談体制を強化する DV相談者の状況に応じて適切に対応できるよう、職員の資質向上を図るとともに、災害発生時の相談体制などについても検討します。
	③男女がともに働きやすい社会をつくる 女性の再就職を支援するとともに、誰もが望む生き方に応じたかたちで、働き続けられる社会づくりに取組みます。		③安全確保と自立支援に取組む DV被害者の新たな居場所での自立した生活のため、住宅や生活費の確保、就業、子の就学など、支援の充実に取組みます。
			④DV対策推進体制の充実を図る DV被害者の状況に応じた支援をするため、庁内・外部関係機関・DV被害者支援団体と連携・協力したDV対策推進体制を充実します。



Check! /

- 社会全体の意識改革はいうまでもありませんが、家庭の中での男女の役割などを区別することなく、教育することも大事ではないかと考えます。
男女の別なく、各人の人権を尊重した社会が構築されるようになることを願います。

起業する女性たち



Hakoプラス建築設計事務所(富山市四方)
代表 柴草万里子さん
建築士、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター、キッチンスペシャリストの資格を持つ。30代で起業。

近年、「起業」する女性たちが増えています。行政などの支援体制も少しずつ整えられていますが、就職難の時代に、女性たちは何を求めて起業を決断したのでしょうか？今回は、建築設計事務所を立ち上げ、ご活躍中の柴草万里子さんにインタビューし、多様化する現代の女性の生き方にスポットをあててみたいと思います。



■ 建築の仕事をはじめたきっかけは？

私は、建築系の学校を出たわけではなくて普通にOLをしていました。資格もなく、建築の仕事をはじめたのは、建築用の資材を取り扱う会社のコーディネーターに転職して、そこで建築の資格をとってからです。

■ 起業しようと思ったのは？

建築士の資格を取得後、7年くらい経って会社を辞め、この先フリーでやっていくか、会社に勤めるか悩んでいたとき、友人と一緒に県の「とやま起業未来塾」の1期生となったことで、起業を考えるようになりました。

OL時代は、「女性は一般職」「女性だから給料はこれだけ」といった固定観念などから、女性が頑張っても評価を受けにくい社会だと感じていました。それで、「女性のほうが独立すべきなのかな？苦労もあるけど、評価を得たいとすれば、自分でやっていくしかないのかな？」と考えるようになりました。また、自宅を自分の手で建て替えたいと思ったことも、現在の事務所を開くきっかけになりました。

■ 仕事をするうえで大切にしていることは？

会社名の「Hakoプラス」は、「家は箱のようなもの。でもただの箱ではなく、そこには、人の手だったり気持ちだったり、いろいろなものがプラスされている」と考えてつけました。せっかく建てる家を、できるだけ自由にお客さまの思いのままにつくるお手伝いが出来たらと思っています。



起業する女性たち

■ 起業して良かったことは?

以前から、会社などどこかに属していると、その枠に収まってしまうように感じていました。例えば、使いたい建材や素材があっても、会社に勤めているといろいろな制約もありましたが、今は自由に提案できます。また、一つの物件に対していろいろな関わり方ができます。設計のみだったり、コーディネーターのみだったり、分離発注で使いたい業者を自由にチョイスするスタイルもできます。お客様に「〇〇はできない」ということは言いたくありません。起業して良かったと思うのは、型にはまらず、お客様にも自由に提案できることです。



■ 大変だったことは?そのとき大切にしていたことは?

起業して一番大変なことは、継続することです。私も、仕事がなくこの先どうしようという時期もありましたが、仕事の仲間に「こういう仕事があるよ」と声をかけてもらったりして、なんとか乗り越えてきました。

また、一人で事務所をやっているのだから、大きな仕事や専門的な発注をするときは、仲間に頼んだり、逆に協力して請け負ったりすることもあります。建築関係は法律もどんどん変わり、お客様に求められることも変化します。新しい情報を

交換することができたり、困ったときに助けあえたりする仕事仲間とのネットワークは大切です。人とのつながりの中で仕事の依頼を受けているので、恵まれていると思っています。

■ 今後の展開や目指すところは?

「こういう方向に広げたい!こういうのをやったら楽しいかも!」という案は、たくさんあります。自分の幅を狭めないで、ここは広げられるなと考えていくことが必要だと思っています。かつていいなと思っていたことが、今、形になっていることもあります。この業界に入っていること自体がそうですね。

■ これから起業を考える方へのアドバイスを

私の場合は、できる仕事はここからここまでというように区切らず、常に仕事の幅を広げるように心がけたことが良かったように思います。いつも柔軟に考え、お客様の希望をかなえてあげたいと思い、仕事を続けてきました。また、「独立しました」「こんな仕事をやります」「〇〇だけでもやります」など、自分がどんなことをしているのか、仕事とは直接関係ないと思える人にも話しておくことがポイントだと思います。そうすることで、意外なところからも声がかかり、めぐりめぐって仕事につながることもあるものです。人とのつながりを大切にすることで、世界が広がり、多くの情報を得られると感じています。意識的にしてきたわけではありませんが、振り返ってみて思うことです。



■ 最近、「女子力」という言葉をよく耳にしますが、柴草さんが思う「女子力」とは?

女性社長や女性起業家にお会いすることも多いのですが、みなさんに共通して言えるのは、小さなことにこだわらない、いざというときの決断力があるということだと思います。

私もいろいろ迷うこともありますが、はたから見るとそうは見えないようです。

インタビューを終えて

建築士の資格取得のために勉強を始めたときは、周りの人に驚かされたという柴草さん。今までとは違う世界に迷わず飛び込んでいくバイタリティーや、常に新しいことに挑戦しようとする姿勢に、「女性起業家」のパワーを感じました。また、女性ならではの視点を生かしながら、自己アピールをし、ネットワークを大切にするコミュニケーションの取り方に、「女子力」を見た思いがしました。



入場無料

男女共同参画 とやま市民フェスティバル 2012

平成24年10月28日(日) 13時～16時
富山市民プラザ 4階 アンサンブルホール

「女子力 実ってます。」

女子力ってなんだろう？
女子力って強くなるもの？ 育つもの？
そんなこんなで、トークはスタート！
いろんな女子力、実ってます。

●開会式 13:00～

男女共同参画社会づくり作文コンクール表彰

●第Ⅰ部 講演 13:30～

「女と男の素敵な関係が 時代を動かす」

講師／中野香織さん(エッセイスト・明治大学特任教授)



中野香織さん

●第Ⅱ部 トークセッション 14:30～

「女子力ってなんだろう？」

ゲストスピーカー／

- ・中野香織さん(エッセイスト・明治大学特任教授)
- ・加藤千尋さん(2007年青年海外協力隊員、警察官)
- ・清水美奈子さん(株式会社インテック システムエンジニア)
- ・橋本めぐみさん(農業者 有限会社土遊野)



加藤千尋さん



清水美奈子さん



橋本めぐみさん

【司会進行】柳下詩織さん

【定員】300人(当日受付順) ※申込不要

定員300人を超えた場合、入場制限させていただきます。

★無料の託児をご利用いただけます。

6カ月以上未就学児(要事前申込 10月18日(木)まで)

【主催】富山市

【お問合せ、託児申込先】富山市民生活部男女参画・ボランティア課

TEL076-443-2051 FAX076-443-2176 Eメール danjyo-volun@city.toyama.lg.jp

会場地図・交通のご案内



〒930-0084 富山県富山市大手町6-14

TEL076-493-1313

【電車】富山駅から徒歩15分

【市電】環状線セントラム「大手モール」下車すぐ

※公共交通機関をご利用ください。

編集後記

●「女性起業家」や「マザーズサロン」の取材を通して、「どう働か」「どう生きるか」ではないかと思いました。いくつになっても、「女子力」を磨く努力だけは続けていきたいと思えます。

<春日編集委員>

編集に際しまして多くの方々にご協力
いただき、ありがとうございました。

●女性の起業。これまた現在の自分に直球で響くテーマ。昨年からフリーで活動をするようになり、「自分で仕事を築いていく」ことを日々考え、悩み、周囲に支えられて且つ自分らしさを磨きながら前進中です。柴草さんとのインタビューを通して、限らないパワーをいただきました。富山で輝く女性起業家が更に活躍出来ますように！

<野上編集委員>

●今回は子供をもっていて働くお母さんの職場を探すマザーズコーナー、起業未来塾の1期生で、建築家の女性を取材して、私の年代では考えられない社会参加の実態を見せられ、まだまだ元気でいろいろな勉強をさせてもらいたいと思っています。

<村下編集委員>

“あいのかぜ”は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人一人が男女共同参画社会に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。

【編集・発行】

富山市民生活部男女参画・ボランティア課

〒930-8510 富山市新桜町7-38

Tel 076-443-2051 Fax 076-443-2176

E-mail danjyo-volun@city.toyama.lg.jp